

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【増設多核種除去設備共沈タンク(A) pH計の不具合について】 増設多核種除去設備共沈タンク(A) pH計の点検中に計器校正を実施したところ、計器許容誤差が精度外となったことを確認。 今後、計器を交換予定。 pHは他の二系統の pH計にて監視可能のため、運転に支障なし。	GⅢ	12月24日
2	【5号機スタックサンプルポンプ(B)異音発生について】 当社社員の現場パトロールにおいて、5号機スタックサンプルポンプ(B)の異音を確認。 応急処置として、スタックサンプルポンプを(B)から(A)に切替えて、サンプリングを実施。 その後、スタックサンプルポンプ(B)を予備品と交換し、運転を再開。 スタックサンプルポンプ(B)の異音発生中もサンプリングは正常に行われていたため問題なし。	GⅢ	12月25日
3	【2号機格納容器窒素ガス管理システム 電気ヒータ入口温度計の指示不良について】 2号機格納容器窒素ガス管理システムを(B)から(A)へ切替えた際、(B)の電気ヒータ入口温度計の指示不良を確認。 (B)の指示不良の原因を調査中。 現在は(A)運転のため、温度制御に問題なし。	GⅢ	12月25日